

寄宿舎生

薬の準備についてのお願い ～服薬マニュアル～

薬は飲み間違えたり、飲み忘れたりすると体調に影響することがあります。
これらを防止するために、寄宿舎で使用する薬は、以下のように準備をしてください。
また、原則として「医師の処方を受けていない薬」は取り扱いできませんので御注意ください(別紙5参照)
(ただし、生理痛の薬、虫刺されの薬に関しては保護者責任の下使用を可能としています。)

1 提出する物

- ①「薬報告書」(内服・外用・頓服)／保護者が記入→職員の確認が必要な場合は「薬依頼書」も併せて提出
 - ②「薬剤情報提供書」のコピー(お薬手帳のコピーでも可)／服薬する薬の把握のため
 - ※原則、薬報告書の提出がない、薬剤情報提供書に記載がないものは、本校では服薬できません。
 - ※外用薬については基本自己管理になりますので「薬剤提供書」のコピーを提出して下さい。
 - 介助や冷蔵庫保管などが必要な場合は、ご相談の上「薬依頼書」の提出をお願いします。
- 帰舎した際に、上記①～②の書類と「薬」を寄宿舎職員に提出する。

2 薬の準備の仕方 (薬依頼書提出者)～必ず保護者と本人が確認しながら準備をしてください。 (生徒本人がファイルから直接薬を取り外し服用するので、わかりやすいようにご準備ください)

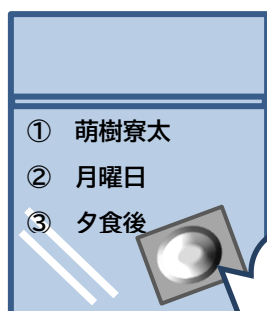
内服薬 →1回分ずつ、時間ごとに準備し①②③を明記して提出ください。
(長期に服薬する定期薬は、予備(非常時薬)として3日分の薬を併せて提出)

非常時薬

災害時等、長期に学校に待機する場合に必要になりますので提出してください。

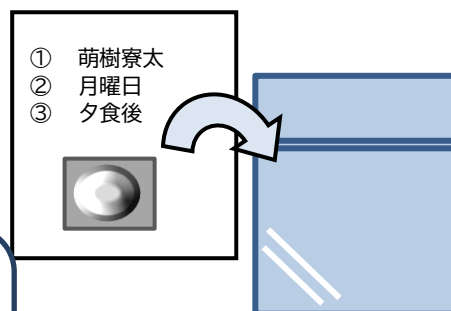
- ①氏名 ②服薬の曜日 ③服薬時間(朝食前後、昼食前後、夕食前後、就寝前など)
*注意:朝夕と同じ薬の場合でも1回分ずつ御用意ください。
*夜など時間が曖昧な表記はお控えください。
※日曜日に帰舎する生徒は、その週の金曜日の分までを1セットとして A4ファイルに貼って、毎週準備してください。
例)朝・夕 薬を服薬していて 日曜日に帰舎する場合
日曜日夕 ～ 金曜日昼までを準備して持たせる。

例1)ジッパー付き袋に 薬を直接入れる

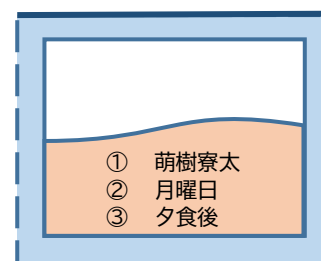


薬の数や曜日、名前も確認するため透明な袋で準備してください。絵柄の袋は使用しないでください。

例2)薬を紙に貼って、 ジッパー付き袋に入れる

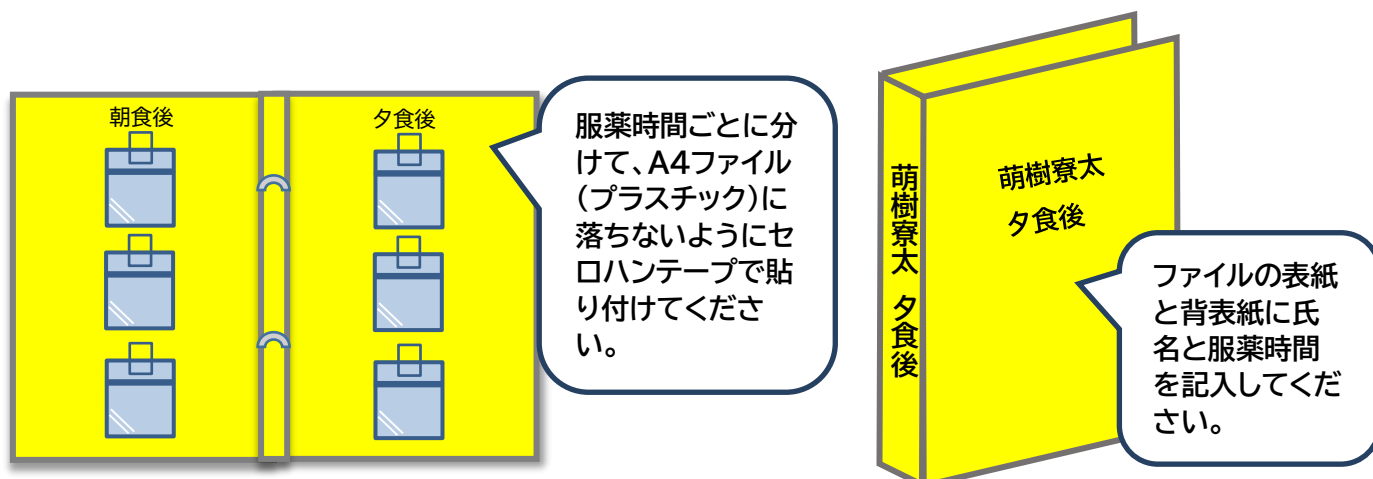


例3)袋に記入 (粉薬などに)

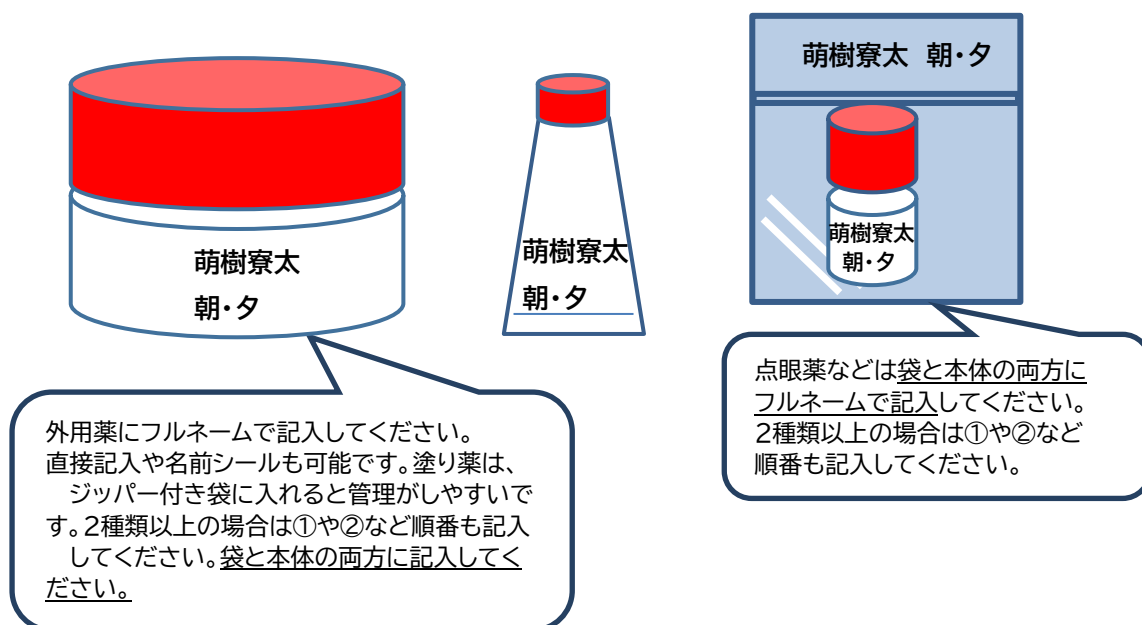


使用する時間ごとに一つの袋にまとめます。
薬の数が多いときも便利です！

- ・「薬剤情報提供書」のコピー（お薬手帳のコピーでも可）を薬ファイル綴ってください。
- ・薬ファイルに服薬後のジッパー付き空袋を入れる場所（ポケット、ファスナー付き袋など）を準備してください。



外用薬 → 外用薬については基本自己管理になります。容器等に氏名・時間を記入してください。



許可されない医薬品

・市販の飲み薬全般・サプリメント・栄養ドリンク・市販の塗り薬・目薬・消毒液（マキロンなど）等

※御不明な点がありましたら、保健室や寄宿舍まで問い合わせください。